

第3学年 技術・家庭科学学習指導案

日時 平成16年11月26日(金)
場所 盛岡市立松園中学校 3年3組教室
学級 3年3組 男子15名 女子19名 計34名
指導者 教諭 中屋 明子

1 題材名 「今までの自分と未来への発進『わたしと家族』」

2 題材について

本題材は、「B家族と家庭生活」の(1)自分の成長と家族や家庭生活とのかかわり、(2)幼児の発達と家族、(3)家庭と家族関係、(5)幼児の生活と幼児とのふれあいにより構成されている。ここでは、「家庭と家族関係」の中の「家庭や家族の基本的な機能を知り、家族関係をよりよくする方法を考えること」について学習させ、家族の一員としてどのようなことができるのかを具体的に考えさせ、実践に結びつくようにすることをねらいとしている。

少子化・核家族化が進んでいる昨今、異世代との関わりも薄れてきている現状である。本来、異世代と関わることは、次のような力を身に付つけていくと考えられる。自己肯定感と人間への肯定感、人間を今ここのみで見るのではなく長い進化の過程を踏まえ人類史的にも把握できる巨視的な視点、人間を今この地域・国だけで見るのではなく地球規模の中で見ていける地理的視点、発展的に矛盾を切り開いていこうとする歴史観、他者に関わってみたいという関心と共感性が大切であると考えられる。また、人間が発達過程の中にあるということを踏まえ発達の的をとらえようとする姿勢と変化の中で人間をとらえることのできる基本的な発達理解、誰でもが人間として平等の権利があるという人権感覚と意識の自覚を培う必要がある。そのうえで、発達しつつ生活する当事者が主体となる関わり、傍観者ではなく自分の責任で他者と関わる責任感を育てなければならない。このようなことから、子ども時代にこの学習を学ぶことにより、異世代を具体的に認識し、人間の一生、その時の系列の中に自分を位置づけてみる力、人間が発達しつつある存在であることの発見と発達しつつある自己の発見への芽が育ってくると考えられる。さらに、異世代の人間の現在と未来に責任をもつことを自らの喜びとする能力、自己と人との関わりを発展させる能力がついていくものと考えられる。そこで、本題材を今までの自分と未来への発進と設定し、育てられている時に育てることを学ぶということを意識させながら、学習を深めていきたいと考える。

少子化・核家族化は松園の生徒達も例外ではなく、乳幼児のいる家庭も2名と極めて少ないのが現状である。しかし、3年間の学習の中で、技術・家庭科の授業だけではなく、性教育などから人との関わりや命の大切さを積み重ねて学習してきているため、B「家族と家庭生活」の学習に抵抗がない。また、自己の意見を発表しながらも、お互いの意見が尊重できているので、本題材を通しより考え方を深めさせていきたい。

3 指導の構想

この題材では、学習する視野を自己の誕生や幼児期の成長から入り、身近な家族、幼児を取り巻く環境へと広がりをもたせるようにした。過去から現在そして未来・世界へと広げることにより、自己理解を深め、未来に向けて自分の生き方を考えていく力を養っていきたい。一人で成長してきたわけではなく、今日までの成長には家族や地域社会が深く関わってきていることを理解させ、支え支えられてきたことを学ばせたい。家族と家庭生活だけではなく、3年間の技術・家庭科の学習のまとめにつながるものにしていきたい。

4 題材の目標

- (1) 家庭や家族の機能がわかる。
- (2) 家族の一員としてできることを考えることができる。
- (3) 家庭生活と地域のかかわりを考えることができる。

5 指導計画

「家族と家庭生活」	21時間
1 今までの自分	3時間
2 幼児を知ろう	15時間
(1) さかのぼる命	
(2) 乳幼児クイズに挑戦	
(3) 聞いて、描いて幼児を知る	
(4) 身に付いている習慣とは	
(5) 幼児をとって遊ぼう	
(6) 遊びを分析	
(7) 作ってみよう絵本	
(8) 作ってみようおやつ	
3 わたしと家族	3時間
(1) 幼児のいる一日	1時間 (本時)
(2) 自分と世界の子どもたち	1時間
(3) わたしと家族	1時間

6 単元の指導目標と評価規準

時	指導目標	関心 意欲 態度	工夫・創造	技能	知識・理解
1 本時	家族の一員としてできることを考えよう	幼児と家族の関わりに関心をもつ。			家族の一員として自己のあり方を考えることができる。
2	子ども達を取り巻いている様々な事柄を考えよう。	子どもの取り巻く環境のあり方を権利と人権から進んでとらえようとしている。		観察・調査したことをまとめたり、発表したりすることができる。	
3	今の自分とこれからの自分について考えをまとめよう。		これからの生活について考えをまとめる。		

7 本時の指導

(1) 授業について

実際に幼児をもつ親の一日の過ごし方を想定させることから、幼児と家族とのかかわりに興味・関心をもたせたい。GTとして、本校でまさに育児最中である職員をまねき、幼児のいる家族としての、日々感じていることを話していただく。「大変だ」というだけではなく、日々の成長に対する喜びなどについてもはなしていただき、子と家族は支えられ、支えていることを気づかせたい。そのことから、自分に立ち戻らせ、家族の一員として自己のありかたを考えさせたい。

(2) 達成目標

- ① 幼児と家族の関わりに関心をもつ。(関心 意欲 態度)
- ② 家族の一員として自己のありかたを考えることができる。(知識・理解)

(3) 評価規準

	観 点	評価規準	具体の評価規準		
			A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	Cと判断される生徒への支援
評価①	関心・意欲・態度	幼児と家族の関わりに関心をもつ。	幼児の生活を具体的に思い描き、親との関わりを予想できる。	親の行動を想定し、予想をたてることができる。	幼児の世話の内容をいくつか例にあげ、親の活動を予想させる。
評価②	知識・理解	家族の一員として自己のあり方を考えることができる。	自分の成長について、家族や周囲の人々のかかわりと関連づけて振り返り、家族の大切さや役割などについてまとめている。	自分の成長について振り返り、家族や周囲の人のつながりについて気づいたことをまとめている。	幼児と家族の関わりから、自分の成長へどんな人が関わり、どんなことに気づいたのか考えさせる。

8 本時の展開

段階	過程	学習活動	指導上の留意点	<評価> 資料・教具
導入	課題把握	1 前時までの確認 家族と家庭生活で学んでいるテーマを確認する。 2 本時の学習内容を確認する。	1 前時までの既習内容を口頭で確認する。	GTの紹介
5分		家族の一員としてできることを考えよう。		
展開	課題の追及	3 幼児をもつ親の一日を予想する。 4 幼児を持つ親の一日を確認する。 5 GTのお話を聞く。 6 家族の一員として今の自分を見つめ、これからの自己のあり方を考える。	3 予想を立てさせることにより、幼児と家族の結びつきに関心を持たせたい。 4 密接な親と子の時間の関わり方に注目させ、子どものかかわりでGTに聞いてみたいことをまとめさせる。 5 育児の大変さだけでなく、日々の成長に対する喜びについても聞き取らせたい。 6 反抗期の中にあつての親への反発も親の支えがあるからこそであることにも気づかせたい。家族と自己が支え、支えられていることに気づかせながらまとめさせたい。	学習プリント 一日の生活グラフ 評価① 発言と学習プリントの記入 幼児の生活を想定し、親との結びつきを予想できる。 親の一日の生活グラフ GTのお話 学習プリント 評価② 学習プリントの記入 GTの言葉の中にヒントをえながら自分の感じたことを表現することができる。
35分				
終結	まとめ	7 本時の学習内容をまとめる。	7 本時の学習内容をふり返らせ、読み聞かせをしながら、親子のかかわりを感じさせたい。	絵本
10分				

表1-14-1 3学年 『今までの自分と未来への発進』 ～育てられているときに育てることを学ぼう～

題材名	小単元名	時間	学習内容	指導内容(学習事項)	指導要領 該当箇所
幼児を 知ろう	さかのぼる命	1	命の誕生と体の成長。	幼児の身体の発達の特徴	B(2)イ
	乳幼児クイズに挑戦	1	幼児の発達の仕方の特徴をとらえる。	幼児の体・運動機能の発達、個人差	B(2)イ
	聞いて、描いて幼児を知る	2	発達と人とのかかわりを考える。	幼児の心の発達と人とのかかわり	B(2)イ
	身に付いている習慣とは	1	生活習慣と人とのかかわりを考える。	生活習慣の発達と人とのかかわり 基本的な生活習慣と衣服	B(2)イ
	幼児として遊ぼう	1	幼児の一日、幼児にとっての遊びとは。	遊びの意義	B(2)ア
	遊びを分析	2	遊びの種類とおもちゃや人とのかかわり方を考える。	幼児の発達と遊びを通してのおもちゃや人とのかかわり	B(2)ア
	作ってみよう絵本	4	関わった子どもたちを思い描いて作成する。	幼児の特徴と配慮した作品づくり パソコンを使ったプロフィール作り (技術の授業とタイアップ)	B(2)ア
	作ってみようおやつ	3	幼児と食のかかわりを考える。	幼児の生活の特徴と人とのつながり 幼児のおやつ	B(5)ア
わたし と家族	幼児のいる1日	1	GTをまねいて、幼児をもつ親の1日を考える。	家庭や家族の機能 家族の一員としてできること	B(3)ア
	自分と世界の子どもたち	1	子どもを取り巻く環境について考える。	こどもの権利・人権、取り巻く環境	B(3)イ
	わたしと家族	1	今の自分とこれからの自分への発進	学習のまとめ	
	合計時数	18			

				排水	イウ
地産地消	食を豊かに①旬の魚に挑戦	4	魚料理に挑戦	食品の特徴、調理計画、安全と衛生 調理実習、振り返り	A(2)ア イウ
	食を豊かに②旬の野菜に挑戦	4	野菜を扱った料理に挑戦	食品の特徴、調理計画、安全と衛生 調理実習、振り返り	A(2)ア イウ
	食を豊かに③郷土を意識して	3	ひつつみをつくろう	食品の特徴、調理計画、安全と衛生 調理実習、振り返り 郷土の食文化と食材	A(2)ア イウ A(5)ア
食生活	これからの食生活	1	これからの食生活あり方を考える。	食生活の課題と応用 ユニバーサルフード	A(5)ア
ごみの行方	ごみはどこからやってくる?	1	ごみの誕生からその後までをさぐる。	環境に配慮した生活	B(4)イ
	始めてみようゴミダイエット	1	自分ができるゴミダイエットの工夫と実践	限りある資源、環境に配慮した生活	B(4)イ
	自分のマグカップを売るとしたら	2	購入時の必要性とは (販売広告ポスターの作成)	ゴミの始まりと商品の必要性 (技術の授業とタイアップ)	B(4)イ

『今までの自分と未来への発進』～育てられているときに育てることを学ぼう～

今までの自分	誕生から死まで	2	人の一生を大まかにとらえる	人の一生と様々な人とのかかわり 様々な家族	B(1)
	私だけの歴史	1	幼児期を中心とした自分のあゆみを作成し、自分を振り返る。	自分の成長や生活の振り返り 自己の成長と人とのかかわり	B(1)
	合計時数	35			

B「家族と家庭生活」

「今までの自分と未来への発進『私と家族』」

今日の学習

Decorative box for today's learning content.

1 予想してみよう。

0 2 4 8 12 16 20 24

佃先生	

☆記入しながら、聞いてみたいと感じたこと。

Large empty box for notes.

↓お話を聞いてみよう。

Large empty box for listening notes.

キーワード

Large empty box for keywords.

2 家族の一員として

○今までの自分

Large empty box for self-reflection.

○これからの自分～家族へのメッセージ～

Large empty box with horizontal lines for future messages.

3 今日の学習から